

戸田中央医科グループ中村会長

名誉市民第1号で祝賀会

戸田市に本拠を置く戸田中央医科グループ会長の中村隆俊さん(89)が戸田市の名誉市民第1号となったことの祝賀会が、戸田市文化会館で開かれた。同市の神保国男市長、県立大学の江利川毅理事ら

150人が出席した。

北海道瀬棚町の出身の中村さんは、1950年に北海道大学医学部を卒業し、電車で23時間かけて上京した思い出を語った。「上野の西郷隆盛

像の下で『自分も西郷さんのように大きな仕事をする。ここでがんばるぞ』と誓った」と振り返った。

兄の哲夫氏、弟の秀夫氏と板橋で病院(現板橋中央総合病院)を開業し、62年に戸田で29床の病院を開業。「それから54年。地元の皆さまと仲良くしてもらい、ここまでできた」と話した。

神保市長は「1都4県で28病院、6老健施設、80の管理機関のトータルヘルスケアネットワークを築いた。市民生活に大きな役割を果たし、スポーツや地域活動でも貢献している」とたたえた。

江利川理事長は厚労省事務次官時代に中村さんと初めて懇談した時の印象について、

「らっ腕の人と思ったが全然違った。温かく情熱的で、夢を追うロマンチストであり、

医師としての使命感を持っている人」と話した。(岸鉄夫)



中村隆俊さん夫妻と神保国男市長(中央) 〓戸田市文化会館